

◎経営協議会の学外委員からの意見、提言等に対し、法人運営の改善に活用した取組例

- (1) 経営協議会及びその他の機会に経営協議会学外委員からの意見については、その場で回答するほか、その内容等を別途取り纏め、関係する委員会、事務局担当課等にて検討することとしている。
- (2) 大学としての新たな取り組み等について、事前に経営協議会で説明を行い、経営協議会学外委員から意見を聴取し、今後の参考としている。
- (3) 検討し、改善した事項(又は改善する)については、経営協議会の場で報告等を行っている。
- (4) 具体的な取組例については下記のとおり。

開催回数	年月日	意見、提言等の内容	対 応
第2回	24.10.16	総合型地域スポーツクラブと国体強化を一緒にして考えられないか。そのシステム構築に貴学が協力していけば、このスポーツクラブと小・中学校、地域の体育施設を一人の指導者が循環するシステムといった、これまでにない仕組みができるのではないかな。	本提言については鹿児島県と連携して進めることとした。 まず、県の教育次長等による本学の施設視察(11/5)を実施した。今後は、テーマを絞って課題について検討する連絡会を定期的に開催していく予定。
第2回	24.10.16	大学では出前授業を盛んに行っているが、貴学では教員だけでなく学生が授業を行うようにすれば、大学のよい広報活動になるのではないかな。	出前授業については、高校から教員派遣の要請があれば、可能な限り対応できる体制をとっている。 また、地域でのスポーツや健康づくりの活性化と本学学生の実践的指導力の向上を期待して、学生を地域に派遣するスポーツ指導活動(学生スポーツボランティア活動)を支援している。 公開講座では、宿泊を伴う短期集中型実技講習として、「サマーキャンプ(バスケットボール・バレーボール)」等を毎年度開講し、当該サークル部員が、実技指導を行っている。そのほか、本学剣道部が、毎年度「鹿屋杯」(全国高等学校選抜剣道錬成大会)を主催し、同部員が審判や大会企画・運営などを担当することによって、高い教育効果を上げている。 これらの地域貢献活動は、本学の広報にも役立っている。
第3回	25.01.21	貴学の卒業生である教員の下へ在学生在が出向き、一緒に指導を行うことができれば、よいPR活動になるのではないかな。	本学在学生在が夏期休業期間を利用し、以下の指導を行っている。 ・母校に帰省し、クラブ指導を行っている。 ・陸上競技部では、本学を卒業した高校の教員とその高校に在学する高校生を本学に招いて、指導を行っている。